



日本技術士会神奈川県支部講演会（第132回CPD講座）

会場 50名、Web 200名

## 土壌汚染およびPFAS等化学物質汚染の実態と今後の動向

—各汚染調査の現状と課題について—

化学物質による環境汚染は益々多様化し、その深刻な影響の解明と早期の対策が求められています。今回の講演は横浜国立大学大学院環境情報研究院から2先生にお越しいただき、多様な化学物質のリスク評価・低減技術について解説していただきます。

小林剛先生は『リスクの大きさに基づく現実的な環境改善』を目的として、リスクが高いことが懸念される物質や発生源に着目して研究を進めておられます。その中で今回は「土壌汚染物質の効率的な調査・浄化技術」について解説していただきます。

三宅祐一先生は研究対象である、ストックホルム条約で製造・使用が禁止されている残留性有機汚染物質（POPs）の中で、今回は特に国内でも注目され、監視や規制が進んできている有機フッ素化合物（PFAS）関連の動向を「PFAS等関連化学物質に関する現状の課題と今後の展開」としてお話ししていただきます。

本講演会は、会場参加者を通常より少なく設定し、同時にWebでも配信します。  
講演会場では新型コロナウイルス感染症予防に皆様のご協力をお願いします。

日時 : 2024年4月20日（土） 13:30～16:50 （受付 13:00～）  
会場 : 波止場会館 5階 多目的ホール（神奈川県横浜市中区海岸通1-1） Web中継あり  
参加費 : 日本技術士会会員（正・準） 2,000円  
一般の方、未入会技術士 3,000円 協賛団体 無料（2名/1社まで）  
主催 : 日本技術士会神奈川県支部

### 【プログラム】

開会挨拶 日本技術士会神奈川県支部

■ 講演 1 13:45～15:05

#### 土壌汚染の現状と調査、対策技術の今後

講師 : 小林 剛 氏

横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授  
博士（工学）

■ 講演 2 15:20～16:40

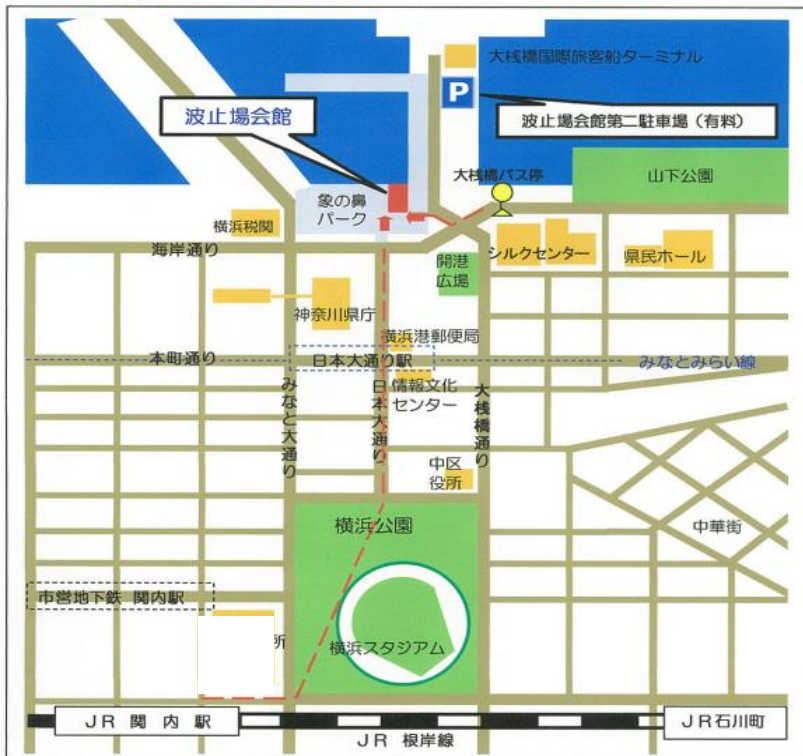
#### PFAS等関連化学物質に関する現状の課題と今後の展開

講師 : 三宅 祐一 氏

横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授  
博士（工学）

閉会挨拶 日本技術士会神奈川県支部

参加お申し込み方法は裏面をご参照ください。



波止場会館  
横浜市中区海岸通1-1  
TEL:045-201-3842

<http://www.y-port-kousei.or.jp/kaigisitsu/hatoba/access.html>  
・みなとみらい線日本大通り駅3番・4番出口から  
徒歩5分



- 申込方法 【会員の方】日本技術士会HPの新CPD行事申込から <https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>  
【未入会・一般の方】下記申込内容をE-mailにて [kanagawa@engineer.or.jp](mailto:kanagawa@engineer.or.jp) へ送信してください。

- (1) 氏名 (フリガナ)
- (2) 所属・役職
- (3) 参加区分 (日本技術士会会員 (正・準)、未入会技術士、一般、協賛団体)
- (4) 技術士の技術部門
- (5) 参加方法 (会場参加、Web参加のいずれか一方を指定してください)
- (6) 連絡先 (E-mailアドレス = 必須、必ず当日利用するアドレスを記載してください)
- (7) 連絡事項など

参加申込に記載いただいた個人情報CPD講座の運営の範囲で利用いたします。

- 申込み締切り：2024年4月15日(月)
- 定員：会場 50名、Web 200名
- 参加費支払い方法：「新CPD行事申込」でWeb参加→会費請求時一括支払い、会場参加→会場支払い  
その他の方法で申し込んだ方→事前振り込みをお願いします。(後日メールにてご案内します)
- お問合せ先

日本技術士会神奈川県支部 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター324  
TEL : 045-210-0337 FAX : 045-210-0338 E-mail : [kanagawa@engineer.or.jp](mailto:kanagawa@engineer.or.jp)